

漁況予報 い わ し

第193号

【2016年1～2月漁期】

※1 平年：過去5年平均

※2 被鱗体長：口先から尾ビレの付け根までの長さ

= 概 況 =

【マイワシ】

主要定置網におけるマイワシ総漁獲量は、11月は5トンで前年(6.4トン)をやや下回り、平年^{*1}(11トン)を下回りました。12月は300kg(速報値)で、前年(1.2トン)及び平年(37トン)を大きく下回りました。

まき網は、11月、12月ともに水揚げはありませんでした。

魚体は、2ヶ月とも被鱗体長^{*2}（以下同）12-13cm（聞き取り）の0歳魚(2015年生まれ)主体でした。

【2015年概況】神奈川県における2015年のマイワシ漁獲量は、主要定置網1,350トン、まき網75トンの合計1,425トン（速報値）で、2年連続の1,000トン超えとなり、平年（2,010トン）は下回りましたが、前年（1,127トン）を上回りました。夏季以降に0歳魚（2015年級群）の漁獲量が伸びたためです。マイワシ太平洋系群は加入量の良好な状況が続いており、今後本県沿岸への更なる来遊に期待したいところです。

【カタクチイワシ】

主要定置網における11月のカタクチイワシ総漁獲量は0トンで、前年（2.5トン）及び平年（7トン）を大きく下回りました。つづく12月の漁獲量（速報値）は9トンで前年（53トン）及び平年（31トン）を大きく下回りました。佐島地区(1ヶ統)のまき網は11月に45トンの水揚げがありました。

【2015年概況】神奈川県における2015年のカタクチイワシ総漁獲量は、主要定置網2,325トン、まき網860トンの合計3,185トン（速報値）であり、前年（4,029トン）をやや下回り平年（3,113トン）並でした。前年好漁だった2月及び盛漁期の5月の漁獲量が伸びなかったことが影響しました。国等の資源量調査によれば沖合海域における分布量は確実に減少していますので、今後は沿岸発生群の動向を注視していく必要があります。

【シラス】

相模湾のシラス船びき網によるシラス漁獲量（標本船データより推定）は、11月は相模湾全体で好漁となり前年並で平年を上回りました（前年比1.0倍、平年比1.4倍）。12月は11月ほどの勢いはありませんでしたが、不安定ながらも漁場形成がありました。（前年比0.8倍、平年比1.1倍）。

【2015年概況】神奈川県における2015年のシラス総漁獲量（標本船データからの推定値）は、前年および平年をやや下回る392トンとなりました（前年比0.7倍、平年比0.8

倍)。春漁期の盛漁期である4月や7～9月の3ヶ月にわたり不漁が続いたことから、不漁傾向のイメージが強く残る一年となりました。

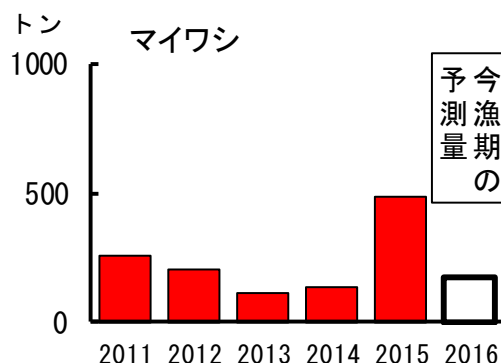
= 予報 =

過去5年の1・2月漁期の漁獲量と今漁期の予測量

【マイワシ】

今漁期は、2015年生まれの小中羽マイワシ(13～15cm)が漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、昨年のマシラス漁獲量から、前年を下回る約170トンと予測されます。現在親潮の南下勢力が弱いため来遊時期が遅くなることが予想されます。

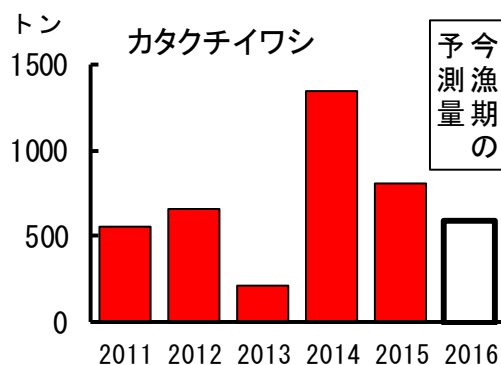


※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

【カタクチイワシ】

今漁期は、未成魚(7～8cm)及び小型成魚(9～10cm)が漁獲の主体となり、沖合海域から来遊する大型成魚(12～14cm)が混じるでしょう。

今漁期の漁獲量は、前年をやや下回る約594トンと予測されます。現在親潮の南下勢力が弱いため来遊時期が遅くなることが予想されます。



※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

【シラス】

神奈川県の上りしらす漁は、1月1日から3月10日まで禁漁です。当所では解禁後の漁況予測のため、神奈川県上りしらす船曳網漁業連絡協議会の協力により、今年も1～3月に禁漁期調査を実施します。調査の状況については、次号で報告する予定です。

神奈川県水産技術センター企画資源部
三浦市三崎町城ヶ島 (046) 882-2313